

新しいTEC BRANCHが始まります。

TEC branchでは過去に耐震等級に関連する技術例や情報などについて掲載してきましたが、その内容は構造計算する立場からの説明で、どちらかといえばQ & A、あるいはテクニックの紹介を断片的に掲載したものでした。

そこで次号から、「これから耐震等級2の住宅のプランニングをするぞ!!」という設計者のために特化した内容に再編集します。基準などは細かく載せませんが、有用なテクニックや失敗事例などを盛り込み、どちらかという、「失敗しない耐震等級2以上のプランニング」のための内容になります。

同じ耐震等級2であっても、その意匠設計者、構造設計者、計算するソフト、または審査機関によっても判断が異なり、結果、異なるプランになってしまいます。そのことは残念なことなのか、それとも価値あることなのか、人によって分かれるところですが、私たちは価値あることだと思います。なぜなら、競争社会である以上、よく学んだ者が勝ち、有能な人やモノを選ぶことが勝ちだと考えるからです。ある意味その方が公平だと思います。頑張ろうとする人には手を貸してくれる人が必ずいます。

頑張りましょう。

■ ■ 次号からの掲載予定 (変更する場合があります)

■ 耐震等級が決まる仕組みについて

1. 耐震等級2以上を証明する方法あり。それぞれ異なる結果になることが多い。
2. 耐震等級2以上で検討が必要になる要素は大きく4つ。頭に入れてプランニングする必要性。

■ 要素1・・・耐力壁

1. 耐力壁の種類は覚えられないほど沢山。最低、知っておかなければならない種類、使い方。
2. 1.25倍、1.5倍必要となっている耐力壁。実際のプランでは何力所必要か？
3. 量を満たせば良いだけではない。耐力壁の配置のイメージ。意味のある壁と意味のない壁。
4. 耐力壁の最小幅、最小高さ。こうすればただの壁も耐力壁にできる。これはダメ、耐力にならない壁。
5. 耐力壁が足りないなら、門型フレームやその他の工法で何とかできるかも!!!
6. 耐力壁の設計にまつわる失敗例。「そんなことで認められないなんて知らなかったよー!」

■ 要素2・・・水平構面

1. 水平構面とは？ その種類と使い易さと使い難さ。プランによって使い分け必須。
2. 吹抜はどこまで大きくできるのか？ その目安を紹介。耐力壁や柱によっても大きさは変わる。
3. 階段、2階ユニットバスも大きく影響。ただし、吹抜とは少々異なる扱い方。
4. 突出した階段室は水平構面NGなのか？ 勾配天井に火打材や梁を入れたくない!
5. スキップフロアは水平構面の問題。スキップフロア可能、不可能の判断方法は？
6. プランを少々変えれば成り立つことになる水平構面のテクニック。その他。
7. 水平構面にまつわる失敗例。「隣の家は火打材がなくても耐震等級2でしたよ! 設計士さん!」

■ 要素3・・・柱・梁などの部材

1. 部材の検討とは？ 全て知る必要がない部材検討。プランに影響する部材とは何か？
2. 天井高さに関係する梁サイズ。ある程度知っておくべきスパンとサイズ。その予想方法。
3. 樹種によってOK or NGに。プランは良くても予算に影響。

■ 要素4・・・基礎 (検討中です。決まり次第お知らせします)

■ 特別編・・・ (検討中です。決まり次第お知らせします)

